

各位様

平成 30 年 11 月 30 日

株式会社キンデックス建材

玄関ドアのドア対震改修工事について

「対震」は通常「耐震」と表記しますが、玄関ドアの 耐震基準 は地震に耐える

のではなく、建物が地震で変形した場合にどの程度追従できるかを表すためです。

地震により扉が開かない恐れ、大型地震による建物の揺れに伴い玄関ドア枠が変形し、

枠と扉が緩衝する事で玄関ドアが開かなくなり、閉じ込められる恐れがあります。

KINDEX の バタフライヒンジ(調整機能付対震丁番) で、地震に対する許容範囲が

大きくなり、地震により建物が変形しても ドアを開けて避難することが出来ます。

(許容範囲内の変形に限ります)

提案として

① 案、②案とも、仕様は調整機能付対震丁番仕様となります。

① 案として既存の枠、扉を残したまま、丁番・気密ゴムを交換して取り替える。

機能を一般丁番より調整機能付対震丁番に取り替える事です。

一般的な丁番・対震丁番と違い出入り調整が可能ですので取付及び調整が

スムーズに行え 作業時間が短縮でき、コストダウンにつながります。

高機能気密ゴム(マグネットゴム・パンダパッキン)で枠・扉の隙間不具合を

解消した高機能なドアにチェンジできます。

② 案として既存の枠をのこしたまま、扉・丁番・気密ゴムを交換して取り替える。

②案は①案の内容で、かつ扉を新しく取り替える工法です。

従来の対震丁番はドア開放(避難)を重点に置いた仕様でしたが、

バタフライヒンジ(調整機能付対震丁番)と(保管丸プレート・チリ確保プレート)を使用する

ことで、一段とドアを開放、開閉、リユース(再使用)しやすくなる構造に

なりました。

又、施工時・施工後の微調整(扉本体の出入り調整)が簡単にでき、

メンテナンスも楽に行える様になります。

玄関ドアのリノベーションで、改修前のドア仕様ではなく、対震仕様の付加価値

を付ける事で、もうひとつの高性能『リセールバリュー』の高い

マンション用玄関ドアになります。

